

(様式第2号)

要 点 録

令和4年1月5日作成

会議の名称	令和3年度第1回島本町人権啓発施策審議会【書面開催】		
会議の開催日時	令和3年10月15日(金)～令和3年10月25日(月)		
会議の開催場所	—	公開の可否	可・一部不可・ <input checked="" type="checkbox"/> 不可
事務局(担当課)	人権文化センター	傍聴者数	—
非公開の理由(非公開(会議の一部非公開を含む。)の場合)	書面開催のため		
出席委員 (提出のあった委員)	川淵委員、中本委員、辻本委員、桺委員、東田委員、林委員、片山委員、宮本委員、徐委員、高橋委員、湊本委員、川口委員、高崎委員、有澤委員、山田委員(※全員)		
会議の議題	令和2年度の男女共同参画の推進に関する施策の実施状況(年次報告書)、取組に対する評価と課題・今後の方向性(案)に対する委員からの意見聴取		
配布資料	・依頼文 ・男女共同参画の推進に関する施策の実施状況(年次報告書)(案) ・意見記載用紙		
審議等の内容	男女共同参画の推進に関する施策の実施状況(年次報告書)に、委員からの意見を実施状況に反映させる。 寄せられた意見は別紙のとおり。		

(1) 男女共同参画に関する施策の実施状況

基本施策1 すべての世代における男女共同参画の理解の促進【P4～P5】

- ・ラインの島本町の利用がさらに拡大するよう望みます。アプリから島本町の取り組みなどの情報も得やすく、町行政等関心向上につながると思います。
- ・広報誌はご覧になれる方も多いと思いますが、LINEで情報がくるようになり、より身近にいろんな情報が入るので、若い方にも少しでも興味・関心を持っていただけるのではないかと思います。
- ・新型コロナのために各種研修や体験学習等が中止となり、一方的な情報提供にならないように、各種デジタル媒体等を利用して、効果的な運営をお願いしたい。
- ・就学前の教育、家庭でのジェンダー意識をもつことから、取り組みを進め、小学校、中学校へつなげていくことが大切である。
- ・積極的に広報をし、実現されていて良いと思います。動画配信は再生可能なのでかえって啓発効果が広がっていて良かったと思います。強化週間も効果的ですね。性の多様性についての取り組みもよいと思います。相談も働いている人等のために夜間に行われたこともよいと思います。男女共同参画について学校教育、家庭教育の取り組みは必要だと思います。SNSによる中傷の問題については講座など開いたらよいのではないかと。あとの実施状況、課題、方向性いずれも納得できるものだと思います。
- ・多くの項目で、新型コロナウイルス感染症の影響があったようですが、完全な収束にはまだ時間がかかりそうであること、また国際化社会においては他のウイルスによる感染拡大も今後考えられるので、コロナ禍であっても、ある程度、展開できるような施策を模索していくことも考えておいても良いかと考えます。

(2) 男女共同参画に関する施策の実施状況

基本施策2 あらゆる分野における男女の活躍推進《女性活躍推進計画》【P6～P9】

- ・役場において男性の育児休業、出産休暇の取得率が昨年より大きく上がった。取得しやすい職場の雰囲気は大事と思う。
- ・ますます保育人数が増える中、病児・病後児保育を他町に頼らず、町として早く実現する必要があると思います。
- ・13. 審議会などへの女性の参画の促進ですが、審議会の開催を、少し難しいかもしれませんが土曜日などにして、若い女性の方（働いてる方）への参画も促進して頂いて、幅広い方がなれることを望みます。
- ・地域活動における女性の活動は多く有り、多くの参画となっているが、分野の長は、男性が多く感じられ、運営が古く感じる。
- ・SC島本女性部組織を再編成し、各クラブから募集し、まず11名の参加か

ら始めるつもりです。又他方面の会の方達の協力を得て楽しいクラブになる様話し合って行きたいと思えます。

- ・男女どちらにとっても働きやすい職場、理解のある職場でないと、女性活躍推進といっても、具体をイメージしにくいのではないか。個々の温度差が大きいように感じる。地域、社会、企業等、常に発信と啓発が必要。
- ・パパママクラスのような男性の育児参加を促すものがより多く開かれればと思います。「手伝う」ではなく「自ら進んで」という男性が増えればと思います。(父母だけでなく祖父母も)
- ・審議会については多いところや少ないところゼロのところもあるのが、40%以上60%以下の内で人選を行ってほしい。女性の登用の促進もされていて良いと思えます。女性交流室は閉鎖されたが、男女共に参画できる男女共同参画室を設けられたらどうでしょうか。一時保育のニーズが高いので続けてほしい。つどいの広場による不安感の軽減もよい取り組みだと思う。男性職員の育休の取得率も高いですネ。すべての分野においてきめ細やかな推進のための事業を実施されていると思えます。
- ・とくに「20 男性の家事・育児・介護への参加促進」について、今まで通りの施策を継続し、参加促進を促したいです。とくに来年4月から育休に関する法律が変わりますし、今、先進的な自治体や企業は、参加だけではなく、よりスムーズに家事シェア・育児シェアができるようにするか？また、家事ズレ・育児ズレをどう対処するか？といったテーマでの研修や講演が増えてきています。

(3) 男女共同参画に関する施策の実施状況

基本施策3 暴力への対策の推進【P10】

- ・(脱字のご指摘1件)
- ・引き続き、特に児童虐待の取組の強化を求めます。
- ・児童虐待については、アンテナを高くはって、子どもたちを守っていかねなければならないが、家庭内、親子間でおこっている虐待は、一番に子どもがしんどい思いをしていると同時に、親も苦しんでいることに目を向ける必要がある。親の虐待を防ぐためにも、親支援やサポート相談体制を整えていくことが大切。
- ・暴力の問題は特に重要な問題だと思います。啓発や情報の提供、自立支援が重要です。児童虐待や高齢虐待もなくさなければなりませんね。相談窓口を設けることも大事です。
- ・コロナ禍でDVの被害届が増加したというデータが各所で出されました。また、外出しにくい状況は、よりDVを潜在化させているとも考えられます。もしも、まだしばらくコロナ禍が続くとしたら、より深刻な状態に陥ることが考えられます。「35」～「37」の施策については、より一層の充実が望まれると思えます。また、被害者の自立支援と同時に、加害者のケアも進

める方策に取り掛かる時期ではないかと考えます。

(4) 男女共同参画に関する施策の実施状況

基本施策4 生涯を通じて安心して健やかに暮らせるための支援【P 11～P 13】

- ・(7)と同じかもしれませんが、コロナ禍の中、孤独になりがちな、特に高齢者の方が増えていると思いますので、何か外にでて笑顔になって頂けるような講座などで支援できれば、少しでも心の病気が減るのではないかと思います。中々簡単なことではないと思いますが。
- ・最近テレビで痛ましい事件が多くなって来ています。島本も多くの方が移り住んで来てくれて嬉しい限りですが、その為にも防犯カメラの設置状況がどの程度進んでいるのか、カメラによって犯罪の抑止力になればと思います。設置状況が知りたいです。
- ・親の高齢化に伴い、親の死後、障害者が自立出来る様な仕組み作りが必要と考えます。
- ・高齢化に伴い、介護、認知等、問題をかかえる人が増える中、相談出来る窓口等、充実する必要があると思います。
- ・学校における性教育の推進について。保健の教科書を使って授業をする際にも指導する側の声かけ1つ、意識1つで子どもたちの中でマイノリティの方たちに偏見をもたせてしまう可能性がある。常に個人が意識し知見を深めるとともに、教育事業全体としても研鑽を積む機会があれば。
- ・コロナ禍でできなかった行事があったようだ。妊娠出産に関しても「パートナーと一緒に知ろうという」夫婦共同の育児についても今後やってほしいと思う。健康相談や健康教育についても回数が多いので少人数でされたと思うが、かなり多くされており良いと思う。高齢者についてもレクリエーションを含めて参加者も多く良いと思う。まずは家にとじこもらないようにすることが大事だと思います。認知症サポーター養成も必要であると思うが、参加者がちょっと少ないのでは？障害者の社会参加も必要な事業だと思います。ひとり親支援も重要です。子ども食堂増やしたら良いのでは？外国人に対する支援も何らかの事業という形でできたらと思います。
- ・「43」「46」にみられるようなオンライン形式でのイベントは、例えば、二人目三人目の子どもを迎える親にとっても、参加しやすいと思います。対面イベントの良さもありますが、同時に新型コロナウイルス感染症が収束したとしても、イベントの選択肢として、今後もオンライン形式を続けてみては？と思います。「52」の子ども食堂の開設・運営に関する補助の実施は、とても良い施策だと考えます。コロナ禍で経済格差は一段と広がり、とくに母子世帯での困窮問題は深刻だと聞きます。今後の方向性として、小学校区ごとに一カ所ずつ子ども食堂の開設ができるよう、補助事業を推進して頂きたいと思います。

(5) 資料1 審議会などへの女性の参画状況【P14～P15】

- ・女性の比率は多いのもあれば少ないものもある。それぞれの会の内容をみて、女性も十分参画、その立場で発揮できていると考えたいです。
- ・(2)にて回答しております。
- ・女性委員ゼロの委員会をなくす努力をお願いします。
- ・性別に関係なく、幅広い意見がでるような構成になればと思う。女性の参画があたり前の世の中になるように。
- ・女性委員比率が低いところ(0のところは特に)は可能なかぎり改善されていけば…と思います。
- ・女性ゼロの委員会は極力なくしてほしい。逆に民生委員など女性が多い委員は、男性参加も増やしてほしい。予防接種健康被害調査委員会にも女性を増やしてほしい。(少ないのでは?)子ども子育て会議は男性参加をふやしたら?いずれかの性が40～60%の間にあることが望ましいと思います。
- ・毎年大きく変化は無いようですが、島本町はたの自治体と比べると良好な数値です。もちろん、部門によってはゼロ%もありますが、トータルでみると、かなり良い水準です。このまま維持できれば…と思います。一つだけ気になったのは、「5 その他の委員、会議など」の「5 スポーツ推進委員」です。オリンピックをみても、ほぼ男女で同種目競技が存在している現在ですので、ここは37.5%から50%にしたいですね。

(6) 資料2 女性職員の割合【P16】

- ・一般職も管理職も能力に応じて、男女性別にかかわらず、登用されるように。女性の管理職登用比率が低い理由を検討し、問題点を改善していく必要がある。
- ・性にかかわらずだれもがのぞむ職(事務職・管理職)を目指せるサポート、ケアがあれば…。
- ・35%ぐらいが女性なので良いと思うが、部次長級、課長級などの管理職の女性の数をもっと増やしてほしいと思います。係長級も多いとはいえませんね。30%ぐらいを女性が占めるようになればよいと思います。
- ・残念なことに「部・次長級」の女性が1人になってしまい、女性比率が大きく下がってしまいました。「役割が人を作る」という考え方もあります。実績があるから登用するのではなく、登用するから実績ができます。私事ですが、私の妻は、結婚当初、大学助手で、そこから助教授→教授と昇進しました。その間、大学病院の副院長も兼任しておりました。「職位が上がって見渡せるようになったし、仕事の見通しも付くようになった。そして、何よりも入ってくる情報の量が桁違いに多くなる」ということを申しておりました。「やってみないとわからないし、やらせてみないと適性はわからない」

とも申しております。「ロールモデル」の存在が必要だという論調もありますが、むしろ、先人が少ないからこそ、思い切った登用も可能なのでは？と思います。男性以上に女性は周囲との同調を重んじるとも言われますが（バイアスのかかった意見ですが…）、是非、昇進の機会に手を挙げる島本町職員の女性が増えてくれることを願っています。

(7) 資料3 男女共同参画講座実施状況【P17】

- ・コロナの影響において、動画配信の実施が通常になりました。会場に行かなくても都合のいい時間に受講できることは、とても便利で楽しみが増えます。
- ・コロナウィルスの影響の中で講座の開催も厳しいとは思いますが、高齢者の方も一緒に参加できるようなイベント（講座）もあればと思います。
- ・講座回数はわかりますが、参加人員が記入されていませので記入をお願いします。
- ・対面での参加、webでの動画配信、ともにそれぞれ効果があり、ハイブリッドで実施はよいと思う。
- ・産後ケア教室、中学におけるスマイルセミナーの内容はわかりかねますが、コロナ禍でうけるつもりでうけられなかった人たちのケアができるようにしてほしいと思いました。
- ・男女共同参画基本法や男女雇用機会均等法、女性差別撤廃条約などについての講座を設けて、現状はどのようになっているのか、また、それらを実現するにはどうしたらよいのかという理論的基盤を理解した取り組みについての話し合いができる場ができればよいと思います。
- ・「5産後ケア教室」と「6中学校におけるスマイルセミナー」が中止になったのは残念です。講師の都合や準備など、難しい面もあると思いますが、オンラインや動画配信での開催でも良かったと思います。その他の講座が、リアルタイム配信であったり、録画動画配信であったりと対応できたのは良かったと思います。

(8) その他（自由にご意見・ご感想などご記入ください。）

- ・スマホ講座について 高齢者はスマホが苦手！なかなか覚えられない！等、今年7月から職員がスマホの使い方についての相談室の開設をされたようですが、利用状況はいかがでしたか？ガラ型からスマホにかわる今、少しでも使えるようになることにより、高齢者の生きがいに繋がるような気がします。自治会や年長者クラブなど、地区でもすすめていけば、ご近所同志のコミュニティーにもなるのではと思います。（社協でも4地区ではスマホ勉強会として、いきいきサロンを少人数の集まりで始めようとしているところですよ。）

- コロナ禍で対面講演などできない状況ではあるが、動画配信によって自由に受講出来るし、もっと積極的に配信していけば良いのではと思います。子ども、大人に関する様々な問題に取り組んでいること、町の広報紙だけでは分かりにくいことが、詳しくわかりました。
- 今回はじめて資料を拝見しました。見識を深め、尽力して参りたいと思います。
- 男女共同参画の行政施策により、各々の会には女性進出がめだっているが、住人主体の自治会、自主防災、年長者クラブ等においては、多くの活動は女性によってささえられているが、やはり、会の会長、幹事等は男性が多くをしめている。もう少し、男女共同で会の運営を行うべきである。
- 計画や理念は当然のことです。早くそんな時代になりますように！
- 多様性を認め合うことができれば、人はもう少しおだやかに過ごせるのではないか。男女共同参画施策の町としての本気度が今後試されていくと思う。
- 男女共同参画という名称に少し違和感があります。
- 細かな取り組みをされ、実施されていてよいと思います。
- 新型コロナウイルス感染症の影響は、各方面に出ていますが、収束した後は、「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ではなく、一つの教訓として活かせるようにしたいと思います。